



用語の解説

リスクアセット P5・P42他
 金融機関が保有する貸出金や有価証券といった運用資産について、資産の種類ごとに定めたリスクの度合い(リスクウェイト)を乗じて信用リスクに見合った金額として評価したもので、自己資本比率を算出する際の分母の値として用いられます。

Tier1 P5・P42他
 BIS(国際決済銀行)が定めた自己資本規制に用いられる概念で、出資金、法定準備金、利益剰余金などから構成される自己資本の基本的項目のことです。

Tier2 P5
 自己資本規制で自己資本比率の算出の際に自己資本に加えられる補完項目のことで、有価証券含み益、貸倒引当金、永久劣後債、期限付劣後債などがあり、Tier1の額を上限に算入が認められています。

Tier1比率 P5・P42他
 基本的項目(Tier1)を分子とし、リスクアセットを分母として自己資本比率を計算したもので、補完的項目(Tier2)等を含む自己資本比率に比べ、財務内容の健全性をより表した指標となっています。

信用リスク P11・P44他
 融資した貸出金や購入した有価証券について、与信先や発行体の財政状態の悪化や経営破綻によって、その資産価値が減少したり回収が難しくなったりして損失を被るリスクのことです。

クレジットポリシー P11
 融資の基本方針のことです。「信用リスク管理要領」の中に、与信判断の指針としてクレジットポリシーを掲げています。

ポートフォリオ P11・P43他
 本来の意味は「紙挟み」で、有価証券の保管に利用されていた書類入れの呼び名の名残から、「有価証券一覧表」や「資産構成」がポートフォリオと呼ばれるようになり、資産を複数の金融商品に分散投資することや、その投資した金融商品の組み合わせを意味するようになりました。

ALM P11
 Asset Liability Management(資産負債総合管理)の略で、金融機関が業務を行うに当たって発生する各種のリスクを回避し、リスクの極小化と収益の極大化に向けて資産と負債のバランスを総合的に管理する手法のことです。

市場リスク P11
 債券や株式といった市場性のある運用資産を保有することで、金利や為替、株式などの相場変動を受けて、保有資産の時価が値下がりして損失を被るリスクのことです。

オリジネーター P11・P46
 資産流動化の仕組みにおいて流動化の対象となる資産を保有している企業などのことで、債券や不動産などの資産を特定目的会社に譲渡するなどして資産を証券化することで資金を調達します。

エクスポージャー P11・P43他
 金融資産のうち市場の価格変動リスクにさらされている(リスクヘッジがされていない)資産の度合いのことで、金融機関の場合には、信用リスクにさらされている融資や保証などの総額を表す意味としても用いられます。

流動性リスク P11
 調達期間と運用期間の不一致や予期せぬ資金の流出、市場の混乱などで、資金繰りに支障をきたしたときに、通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされるリスクのことです。

オペレーショナル・リスク P11・P43他
 通常の業務遂行により発生するリスクの総称で、事務ミスやシステム障害等にかかるリスクに限定して用いる場合もありますが、人材の流出、不正、事故などの人的リスク、コンプライアンス態勢の不備などによる法務リスク、災害などによる業務中断リスク、それらに伴う風評リスクや訴訟等のリスクなど、調達や運用に直接関係するものを除いた幅広いリスクが含まれます。

デリバティブ P42・P44
 株式、債券、為替といった既存の金融商品(原資産)からデリバー(派生)してできた金融派生商品の総称で、先渡取引、先物取引、スワップなど将来一定価格で原資産を受け渡すことや一定期間のキャッシュフローを交換することを約束する取引および、将来一定価格で原資産を買う権利または売る権利を売買するオプション取引などがあります。

オンバランス P42・P50
 預金や貸出金など、貸借対照表上(バランスシート上)に記載されている項目あるいはその額のことをいいます。

オフバランス P42・P50
 貸借対照表上に記載されない項目あるいはその額のこと、資産の売却・証券化・流動化などにより、資産規模圧縮や資産価格の変動リスクを回避し、資産効率の改善を図ることを指しますが、スワップやオプション取引などのデリバティブ取引がオフバランス項目となるため、これらについては厳格な管理と貸借対照表上への開示が求められています。

ソブリン P43・P51
 中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機関、土地開発公社、地方道路公社、信用保証協会、外国の中央政府以外の公共部門、国際開発銀行、国際決済銀行、国際通貨基金等のことです。

金利ショック P47
 市場金利の変動により、保有している運用・調達勘定の経済価値が低下することの呼び名です。

パーセンタイル値(%タイル値) P47
 計測値の分布を小さいものから大きいものへ順番に並べて、小さいほうから何パーセント目に位置しているかを意味するもので、99パーセンタイル値の場合、全体を100として小さいほうから99番目に位置する値ということになります。